

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命学	選択	選択	1	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	医療を学ぶ上では生命科学の基礎知識が必要不可欠である。そのため、高校で習得した生物学、化学の基礎知識を連携させて復習するとともに、分子生物学、生命工学などの生命現象に関連した知識を理解することを目的とする。また、哲学や生命倫理に関する視点から、治療・ケア・癒しに関する社会的な問題について実例等を通して学習する。これらの内容について、課題学習等を通して理解するとともに、授業における Microsoft Teams を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的な理解につなげる。				
学習上の助言	講義を通して、生命科学、哲学、生命倫理など様々な視点から生命について考える態度を養うことを目指して欲しい。				
教科書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第3版 /著:和田勝 /羊土社				
参考書	現代生命科学 第2版 /編:東京大学生命科学教科書編集委員会 /羊土社 スピリチュアルケアへのガイド /窪寺俊之・井上ウィマラ /青海社				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生命について細胞レベル個体レベルで理解し、概要を説明することができる。			HSU(1)	
②	細胞の構造と各種構造の機能のつながりを理解し、概要を説明することができる。			HSU(2)	
③	神経系の基本構造と働きを理解し、概要を説明できる。			HSU(1)	
④	誕生と死について自分なりの説明ができる。			HSU(2)	
⑤	健康という概念について説明することができる。			HSU(4)	
⑥	治療、ケア、癒しについての自分の考えを述べるができる。			HSU(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	生命科学と生物学の基本となる事項を身近な課題を通じて学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	教科書「序章~第1章」および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
2	生物にみられる共通の構造および特徴と発生の基本原理と生物に共通してみられる派生メカニズムを学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	教科書「第1~3章」および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
3	いのちの「はじまり」と「おわり」について、哲学、臨床的ケアさらには心理学的発達の視点から学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：井上ウィマラ]	同時双方向型授業	予習：家系図を書いて自分のルーツについて考えてみる。 復習：「私」のはじまりとおわりについて、授業からの学びを整理する。	4	
4	外部環境を認識し内部環境を調節する情報処理システムの主となる神経系の基本構造と神経系の生理機能の基本的な仕組みを学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	教科書「第3,10,11章」および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
5	言語を獲得することによって失ったもの； 死生観と健康観について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：井上ウィマラ]	同時双方向型授業	予習：健康の定義について調べる。 復習：「健康とは何か」について、自分の考えをまとめる。	4	
6	生物の進化の仕組みと多様性について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	教科書「第12章」、参考書等を用いて生態系の進化のしくみなどについて予復習する。	4	
7	治療・ケア・癒しについて、全人的医療や緩和ケアの視点から学習する。 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：井上ウィマラ]	同時双方向型授業	予習：全人的ケアについて調べる。 復習：ケアの循環について、授業での学びをまとめる。	4	
8	これまでの学習の総括 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：志茂聡]	同時双方向型授業	教科書、参考書等を用いて第7回までの内容に沿って復習する。また、講義内で挙げた学習課題について復習する。	4	
試					

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	40	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	0	40	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価の方法		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		初回講義でレポート書式および評価方法を提示する（評価割合100%）				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	初回講義でレポート書式および評価方法を提示する（評価割合100%）				添削後、学生に返却により結果の開示および解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎志茂 聡、井上 ウィマラ</p> <p>実践的授業の内容：人体の構造とともに実践的な機能を含めた内容を実施する。また、講義形式とともに講義内容についてのディスカッションや意見交換などフィードバックの機会を組み込み、臨床場面で必要となる「得た知識を活用する場面」を取り入れた授業をおこなう。</p> <p>Microsoft Teams を用いた遠隔授業を行う。 課題ダウンロード等があるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</p>							